

## 国際化学肥料ニュース（2014年4月）

### 肥料業界の2014年4月動態

- \* 4月4日、カナダ Canpotex はインドとの間に2014年の塩化カリ販売契約を締結したと発表した。契約内容は、Canpotex が2015年3月までの1年間にインドに CIF322 ドル/トンで 100 万トン塩化カリを販売するものである。その価格は3月31日に締結したロシア Uralkali の CFR322 ドル/トンに比べ、保険を含むため、実質は最低価格である。
- \* 3月27日、ウクライナ政府暫定総理 Arseny Yatseniuk は、ロシアとの紛争により、ロシア産天然ガスの価格が4月1日から 79% 値上げ、480 ドル/km3 になると発表した。但し、しばらくの間に国内アンモニアと尿素工場への販売価格が 268 ドル/km3 のままに維持し、国内の尿素生産と輸出には影響を及ぼないと保証した。
- \* カナダの Agrium 社はアルバータ州 Carseland にある尿素工場がボイラの故障により3月22日から生産停止となったと発表した。当該尿素工場の生産能力はアンモニア 53.5 万トン/年、尿素 68 万トン/年であり、今度の修理は5月下旬まで続く予定で、アンモニア 2 万トン、尿素 10 万トンの生産量が失う。
- \* 3月末、ウクライナの OPZ 社は2ヶ所の尿素工場の生産を停止した。理由はアンモニアの輸出価格が上昇で、黒海のアンモニア FOB 価格が 500 ドル/トン、尿素の 300 ドル/トンより利益が高い。OPZ の尿素生産能力が 7 万トン/月で、この措置により、尿素生産量が半減の 3.5 万トン/月になる。
- \* インドの DAP 輸入価格は CFR450 ドル/トンに暫定的に決定した。インドは昨年度の DAP 在庫量が多かったため、今年春期の輸入が進まない。先月、中国開発グループと締結した輸入契約も数量だけ決めて、価格を未定のままであった。その後、交渉の結果、4~5月の DAPCFR 価格を 450 ドル/トンに決定した。但し、5月16日から中国りん安が非需要期に入り、輸出関税を下げるを見込んで、6月以降の輸入価格が下がるのではないかと推測される。
- \* インド政府化学肥料省の最新統計データによれば、2013年4月～2014年3月の肥料年度に尿素の輸入量が 708 万トンであった。2012～2013 年度の尿素輸入量 804 万トンに比べ、約 12% の減少であった。オマーン・インド合弁の OMIFCO 社からの輸入量が 212

万トン、ほぼ 30%を占める。輸入元はインド国営企業が主力で、MMTC 社だけで 168 万トンを輸入して、国営企業が計 496 万トンを輸入した。

- \* エジプト政府は、国内民生用天然ガスの供給安定を保つために、4 月 14 日から 23 日までに化学肥料生産用の天然ガス供給量を制限すると決定した。しかし、制限措置が予定通りに解除されるか否かは不明である。この制限措置により、エジプトの 4 月尿素生産量が 2 割減、輸出量が半減すると予想される。
- \* ヨーロッパの塩化加里が値上げ傾向。ロシアの Uralkali 社がヨーロッパ地域に 4~6 月出荷の塩化加里を 15~20 ユーロ/トン値上げする通告をしたことに伴い、ほかの加里メーカーも後追いして値上げ方針を打ち出した。輸入貿易商との商談で、一部の商社が 10 ユーロ/トンの値上げを受け入れたが、ほかの商社が依然 1~3 月の価格に据え置きを要求する。

ヨーロッパ市場の今年加里肥料の需要量が 1000.4~1000.7 万トンと予測される。3 月に輸入された粒状塩化加里の CFR 価格が 375~395 ユーロ/トンに上昇し、普通の塩化加里より 40 ユーロ/トン高かった。通常、粒状塩化加里と普通塩化加里との価格差が 15~20 ユーロ/トンであるから、普通塩化加里の値上げが避けられない状況である。

- \* 税関の輸入統計によれば、日本 2 月に 5.3 万トンの DAP を輸入し、平均 CFR 価格 48,700 円/トンであった。その内訳は、アメリカから 35560 トン、サウジアラビアから 6500 トン、モロッコから 5500 トン、中国から 5574 トンであった。CFR 最高値がサウジアラビアの 50,790 円/トン、最安値が中国の 47,140 円/トンであった。

## 大手各社の営業業績

- \* ドイツ K+S 社は、2013 年の加里肥料とマグネシウム部門の営業業績が不振の影響を受け、株主に配る配当金を削減し、手元の現金を積み上げる考えを明らかにした。

2013 年の塩化加里国際価格の下落により加里とマグネシウム部門の売上高が 2012 年の 22.9 億ユーロから約 11% 減の 20.4 億ユーロに、粗利も 5.5 億ユーロに減少した。但し、K+S 社は現在の塩化加里価格がすでに底を打って、それ以上に下落することがないとみて、2014 年の販売量も昨年と同様の 697 万トンと計画する。

また、K+S 社は配当金を削減して積み上げる現金はカナダの Legacy 加里開発プロジェクトに集中的に投入する予定である。K+S 社は 2011 年初めにカナダの Potash One 社からカナダ Saskatchewan 州にある Legacy 加里鉱山を買収して、開発を進んで

いる。2015年に生産開始、最終に塩化加里生産能力 270 万トン/年の超大型生産基地にする予定。総投資額は約 40 億ドル。

- \* アメリカの Rentech 社は 2013 年の営業業績を公表した。2012 年に比べ、営業利益が 890 万ドル減の 3540 万ドル、税引き前の純利益が 2800 万ドル減の 3610 万ドル。減収減益の主な原因是工場の減産と主力製品の窒素肥料の価格低迷である。  
ただし、Rentech 社は 7 月中旬にカリフォルニア州 Pasadena 市にある硫酸工場にアンモニア装置を増設し、肥料の増産計画も発表した。
- \* ロシアの PhosAgro 社は 2014 年第 1 四半期の営業速報を公表した。りん鉱石採掘量 217 万トン、りん安生産量 57 万トン、その他のりん酸系肥料生産量 66 万トン、NPK 化成肥料生産量 49.9 万トン。販売については、りん鉱石外販量 87.3 万トン、りん酸系肥料（りん安を含む）販売量 122 万トンであった。

#### 肥料資源の探索と肥料プラント新規建設

- \* イギリスの African Potash 社は、アフリカコンゴ共和国の Lac Dinga 湖周辺で面積 470km<sup>2</sup> 採鉱地域に加里鉱物（シリビンとカーナリット）を発見したという報告を発表した。  
コンゴの Lac Dinga 湖地域に豊富な加里鉱石の埋蔵量があると予測され、オーストラリアの Elemental Minerals 社が Sintoukola プロジェクト、カナダの Mag Industries 社が Mengo プロジェクト等の加里採掘行動を展開している。
- \* RioTinto 社は、カナダ Saskatchewan 州に新たに加里鉱脈を発見したと報告した。その鉱脈は BHP が開発中の Jansen 加里鉱山に近く、埋蔵量が 32.9 億トンと推定される。もし、正式に立項され、開発すると、年間生産能力 300 万トン、採掘期間 100 年の巨大な塩化加里生産基地となる。初期開発費用は約 30 億ドルと予定される。
- \* 4 月 3 日、ブラジルの Verde Potash 社はブラジル Minas Gerais 州に探鉱している Cerrado Verde 加里鉱山に新たに加里鉱脈を発見したと発表した。当該加里鉱山はカナダが制定した NI 43-101 鉱物資源情報開示基準を満たし、加里鉱石埋蔵量が 14.7 億トン、平均品質 9.2% K<sub>2</sub>O である。ブラジル政府は Verde Potash 社に加里採掘権を与える予定である。

#### その他

\* 3月31日、ベラルーシ通信社は138号大統領令を発表した。大統領令は、現在実施している塩化カリウム輸出関税の徴収停止政策をさらに2014年12月31日までに延長する内容である。

ベラルーシ政府は、ロシアのUralkali社がBCPから離脱してベラルーシの塩化カリウム輸出が落ち込んだことにより、2013年に400号大統領令を発表し、2013年9月1日～2013年12月31日の期間中に塩化カリウム輸出関税の徴収を一時停止すると発表した。その後も当該政策を2014年3月31日までに延長した。

\* アメリカCHS社は声明を発表し、ノースダコタ州に窒素化学肥料工場の建設計画を中止することを正式に決定した。

ノースダコタ州は豊富な石油と天然ガス埋蔵量がある。CHS社は2012年にその天然ガスを原料として、Spritwoodに生産能力2000トン尿素／日のアンモニアと尿素工場を建設する計画を発表した。

しかし、その後の詳細な調査研究により、建設にかかる費用は計画に予想の11～14億ドルより大幅に上回る20億ドルに達する可能性があると判明した。CHS社は当該調査研究により既に約1000万ドルを投じた。